

二つのギャラリーで同時開催 前衛画家「藤松博展」

戦

後美術を代表する前衛画家・藤松博(1922~96)の展覧会が、加島美術とギャラリー川船で同時開催される。藤松は、長野県に生まれ、東京高等師範学校卒業後、読売アンデパンダン展に前衛的な作風の絵画を出品し、瀧口修造ら評論家に高く評価された。その後ニューヨークで活動するが、帰国後、人体の形象を取り入れた連作を発表。今回の展覧会は2会場に分けて約60点を展覧。また、1974年から1975年にかけて月刊「新潮」の表紙を飾った作品と当時の「新潮」を数点、会場内に展示している。

■藤松博展／会期:6月24日～7月8日／会場:
加島美術1、2階 ギャラリー川船B1階 東京都
中央区京橋3-3-2／開廊時間:10:00～18:00
／会期中無休／入場無料／問合せ:加島美術
☎ 03-3276-0700 www.kashima-arts.co.jp



藤松博
油彩
カンヴァス
1986年
131×106cm